

大学の先生迎え先生方が勉強会

―「いじめを予防する学習指導について」学ぶ―

一堂に会して学び合う

2月7日(木)、町内の先生方全員に加え高校の先生方も参加し、勉強会をしました。

講師は教育大学札幌校・庄井良信教授。町の進める学校と地域が手を携えて学びと育ちをつくる「学びの共同体」づくりの共同研究者としてご指導いただいた先生です。

演題は、「いじめを予防する学習指導について」子ども理解を深めながら」でした。

漢方薬のように働く

授業の積み重ねを

庄井先生は、子どもたちが、問われてすぐに答えを追い立てられ、できないことが許されない風潮の中で「自分はダメ」との思いをため込んでいる、「いじめ」は授業の中でも起き得ると指摘しました。

その上で、子どもたちの抱えるマイナスの感情を受け止め、安心して学ぶことができる時間と場、友だ

ちや先生との関係を取り戻す大切さを強調。その点では、11月に実施された上小2年生の古館丸子さんとの「サケの授業」など、地域の人々との触れあい・学び合いは漢方薬のような働きをすると言及しました。

愛される経験通し

「心の浮き輪づくり」を

その上で庄井先生は、時間をかければできるようになるという励ましと自分の心と体を潜らせて考えることのできる授業づくりの大切さを指摘。何よりも子どもたちは、学校や家庭で、成功も失敗もまるごと見守られ、愛される経験を通して「心の浮き輪」を獲得すると強調しました。

「人として育つ」基本踏まえ子どもに伴走する力を

実際に起きた「いじめ問題」には、一人の先生に抱え込まず、子どもの心や生活、発達年齢などの全体をチームで把握し支援する必要があると指摘。何より「いじめられた子への無

条件の寄り添い」と「いじめに係わった子の心や生活の読み取りと克服の支援」など、当事者である子どもと一緒に悩み、伴走する大切さを強調。先生もまた自分の心と体を潜らせ、子どもの成長をたすける中で教師として成長するのではないかとの深い問いを投げかけました。

「上小公開研究会」

グループ協議する先生方



左端：共同研究者・庄井教授



図書だより

図書新着ごあんない

* 人 質	佐々木	譲／著
* 螢 草	葉 室	麟／著
* 笑うハーレキン	道 尾 秀	介／著
* 55歳からのハローライフ	村 上	龍／著

リサイクル本市

■日時 3月12日(火)～3月17日(日)
午前9:30～午後5:00

■場所 ジョイじょぐら内 町民図書室

* 図書室で不用になった本や雑誌など、約500冊をリサイクル本として、皆さんに無料で譲ります。(雑誌は1人5冊まで)

休館日のお知らせ

3月28日(木)～3月31日(日)

* 上記4日間、図書整理のため休館します。

通常開館：(火～土) 午前9時30分～午後5時15分
(日・祝祭日) 午後0時30分～午後5時15分

休館日：毎週月曜日、年末年始

場 所：上ノ国町民図書室(ジョイ・じょぐら内)

児童生徒実態交流会開かれる

冬休み中の1月18日(木)、上ノ国中学校を会場に平成24年度第2回児童・生徒実態交流会が開かれました。

この実態交流会には、54名の参加がありました。金子教育長の挨拶の後、河北小学校尾崎先生、上ノ国中学校佐野先生らが提言し、それぞれの分散会では「中一ギャップを防ぐための連携のあり方」などが話題になり、小・中学校の垣根を越えて気軽に互いの授業を見合い、子どもの様子をつぶさに見ることも大切ではないかという意見などが出されました。

